

新着！ 海の生き物レター

水族館
06.12.27
Vol.16-No.2



あの「肩乗りペンギン」が 子育てに 初挑戦！

No more playing with humans
Now he's got chicks under his wing

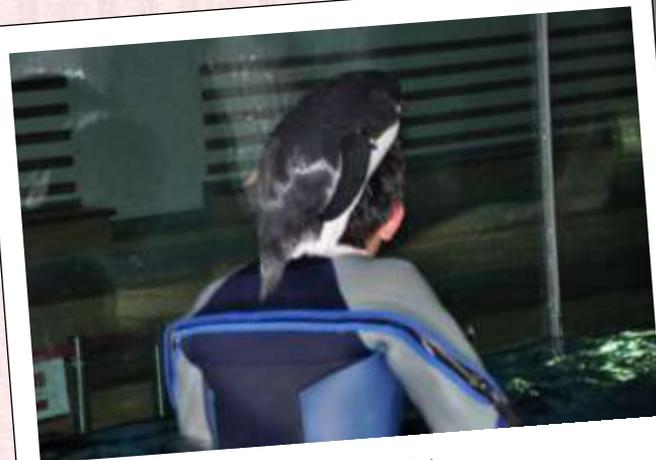


お腹の下でヒナを守る アデリーペンギン AP-132(オス)

子育てシーズンを迎えたペンギン水槽の中で、飼育係はある親鳥に注目しています。アデリーペンギン132番（AP-132）という、8年前の誕生時に飼育係の手で育てられた個体です。人を親だと認識してしまう「刷り込み」が起きないように注意深く育てた結果、ペンギンの社会にうまくなじみ、数年前より繁殖に参加するようになりました。ペアを組んだ相手との間に産まれた卵は無精卵でしたが、今年は他の親のヒナを託す形で初めて子育てに挑戦させました。よい父親ぶりを発揮しており、安心していきます。



昨年からのペアの相手 AP-057(左)は、過去にほかのペンギンと繁殖した実績のある、24歳のメスです。



若いころの AP-132 (2017年撮影)
飼育係と距離が近く、「肩乗りペンギン」と話題になりました。
今はテリトリーに近づく者を本能おき出して攻撃してきます。